

子どもの声が学校に帰ってきた。廊下を歩くと、教室からにぎやかな声が聞こえてくる。校舎改修中なので、にぎやかな音も聞こえてくる▼三重県が、子どもの「自己肯定感」について、評価をまとめた。ウェルビーイングについて、10項目に絞り、数値での評価を試みた▼三重県は、若干全国を下回ったが、いなべ市は、すべてにおいて全国を上回る結果になったそうだ。阿下喜小学校の結果もよかったと聞いた▼この結果は、「阿下喜」の成果である。家庭、地域、そして教職員の積み上げの成果である。子どもを取り巻く、素敵なあなたが、素敵な子どもたちを育てているということだ。少し、誇ってもいい。そして、ありがとうございます。▼今日は、お家の都合等で欠席した子を除けば、ほぼ全員が「元気に」登校した。気持ちはもっとあったらいいのに夏休み・・・かもしれない。子どもたちが元気に学校に戻ってこれたのは、家庭と地域のおかげ。▼今日から3日間夏休みのチャレンジ展示がはじまった。まだ見に行けていないが、楽しみにしている。150作品、それぞれのプロセスに思いをはせながらじっくり見ようと思う▼さて、始業式の日には6年生の4人の女の子が校歌と全校合唱の伴奏にチャレンジした。全校合唱の曲名は「ビリーヴ」。われわれ大人は、子どもの成長と可能性を信じて、疑わず。2学期も阿下喜の「宝」を磨こう。